

令和2年度事業報告

令和2年度庶務事項

1 評議員・役員構成 (令和2年度末、五十音順)

役 職	氏 名	兼職状況
評 議 員	窪 田 優 一	釜石市副市長
評 議 員	佐々木 淳	岩手県ふるさと振興部長
評 議 員	佐 藤 廣 昭	宮古市副市長
評 議 員	澤 里 充 男	久慈市副市長
評 議 員	志 田 努	大船渡市副市長
評 議 員	橋 本 良 隆	岩手県商工会議所連合会専務理事
評 議 員	水 野 雅 裕	岩手大学研究支援・産学連携センター長
代 表 理 事	保 和 衛	岩手県副知事
業務執行理事	上 田 幹 也	岩手県ふるさと振興部部付
業務執行理事	箱 石 知 義	岩手県ふるさと振興部副部長兼県北・沿岸振興室長
理 事	青 山 潤	東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター長
理 事	有 賀 義 信	一般社団法人日本旅行業協会東北支部岩手県地区委員会委員長
理 事	菅 野 信 弘	北里大学海洋生命科学部学部長
理 事	熊 谷 敏 裕	岩手県商工会連合会専務理事
理 事	後 藤 均	岩手県漁業協同組合連合会専務理事
理 事	中 村 一 郎	三陸鉄道株式会社代表取締役社長
理 事	松 田 淳	岩手県立大学宮古短期大学部学部長
監 事	菊 池 芳 泉	一般社団法人岩手県銀行協会常務理事
監 事	佐 藤 修	岩手県町村会参与兼事務局長

2 会議等開催状況

年月日	記 事
R2. 4. 16	理事会（決議省略） 第1号議案 評議員会の議事に付すべき事項について ・評議員 白水伸英氏、高泰久氏及び藤代博之氏、理事 小野寺宏和氏、平井省三氏及び津田敦氏の辞任に伴い、後任評議員及び理事の候補者（佐々木淳氏、志田努氏、水野雅裕氏、箱石知義氏、上田幹也氏、青山潤氏）を決定
4. 22	イベント開催事業審査委員会（於：岩手県水産会館）
4. 24	コミュニティ活動・人材育成事業審査委員会（於：岩手県庁）

4.30	県北沿岸地域新商品・新サービス開発（１次募集）事業審査委員会（於：岩手県水産会館）
5.1	評議員会（決議省略） 第１号議案 評議員の選任について ・佐々木淳氏、志田努氏及び水野雅裕氏を評議員に選任 第２号議案 理事の選任について ・箱石知義氏、上田幹也氏及び青山潤氏を理事に選任
5.14	本監査（於：岩手県公会堂）
5.15	変更登記（評議員及び理事の変更）
5.21	理事会（決議省略） 第１号議案 業務執行理事の選定について ・理事 箱石知義氏及び上田幹也氏を業務執行理事に決定
5.26	第１回理事会（於：岩手県水産会館） 報 告 職務執行の状況について 第１号議案 令和元年度事業報告及び附属明細書の承認について 第２号議案 令和元年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について 第３号議案 令和２年度事業計画の変更及び収支予算（補正第２号）の承認について 第４号議案 公益財団法人さんりく基金職員就業規程の一部改正について 第５号議案 令和２年度第１回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
6.4	調査研究事業審査委員会（於：岩手県水産会館）
6.10	第１回評議員会（Web 会議による開催） 報 告 職務執行の状況について 第１号議案 令和元年度事業報告及び附属明細書の承認について 第２号議案 令和元年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について 第３号議案 令和２年度事業計画の変更及び収支予算（補正第２号）の承認について
8.24	公益法人認定法に基づいた変更承認申請書提出
8.25	県北沿岸地域新商品・新サービス開発事業（２次募集）審査委員会（於：岩手県議会棟会議室）

9. 24	変更認定
12. 11	令和 2 年度研究成果報告会（於：岩手大学釜石キャンパス）
R3. 1. 22	令和 2 年度第 2 回理事会（於：岩手教育会館） 報 告 職務執行の状況について 第 1 号議案 令和 3 年度事業計画及び収支予算について 第 2 号議案 公益財団法人さんりく基金代決専決規程の一部改正について 第 3 号議案 公益財団法人さんりく基金職員就業規程の一部改正について 第 4 号議案 公益財団法人さんりく基金育児・介護休業等に関する規程の制定について 第 5 号議案 公益財団法人さんりく基金職員退職金支給規程の制定について 第 6 号議案 公益財団法人さんりく基金財務規程の一部改正について 第 7 号議案 公益財団法人さんりく基金理事会運営規則の一部改正について 第 8 号議案 令和 2 年度第 2 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
2. 4	第 2 回評議員会（Web 会議による開催） 報 告 職務執行の状況について 第 1 号議案 令和 3 年度事業計画及び収支予算の承認について
3. 22	理事会（決議省略） 第 1 号議案 令和 3 年度事業計画の変更及び収支予算（補正第 1 号）の承認について 第 2 号議案 重要な使用人の選任について 第 3 号議案 評議員会の決議の省略について 協議事項 県出資等法人に係る中期経営計画書について
3. 30	評議員会（決議省略） 第 1 号議案 令和 3 年度事業計画の変更及び収支予算（補正第 1 号）の承認について

基本財産造成状況等

1 基本財産造成状況（令和3年3月31日現在）	335,400,000 円
（1）県	230,000,000 円
（2）市町村	100,000,000 円
（3）民間企業団体等	5,400,000 円

市町村別出捐内訳 (単位: 千円)

市町村名	出捐金額	市町村名	出捐金額	市町村名	出捐金額
大船渡市 (うち旧三陸町分)	10,900 (3,600)	宮古市 (うち旧宮古市分)	19,000 (10,000)	久慈市 (うち旧久慈市分)	10,400 (7,500)
陸前高田市	6,100	(うち旧田老町分)	(3,100)	(うち旧山形村分)	(2,900)
住田町	3,400	(うち旧新里村分)	(2,900)	普代村	2,900
釜石市	9,200	(うち旧川井村分)	(3,000)	野田村	3,100
大槌町	4,900	山田町	5,400	洋野町	7,800
遠野市 (うち旧遠野市分)	9,400 (6,200)	岩泉町	4,400	(うち旧種市町分)	(4,500)
(うち旧宮守村分)	(3,200)	田野畑村	3,100	(うち旧大野村分)	(3,300)
		合 計			100,000

民間企業・団体等出捐内訳（名称は出捐当時）

・岩手県銀行協会（岩手銀行、東北銀行、北日本銀行、みちのく銀行、盛岡信用金庫、宮古信用金庫、一関信用金庫、花巻信用金庫）	2,000 千円
・新日本製鐵株式會社釜石製鐵所	1,000 千円
・東北電力株式会社岩手支店	1,000 千円
・日本電信電話株式会社盛岡支店	1,000 千円
・久慈商工会議所	100 千円
・宮古商工会議所	100 千円
・釜石商工会議所	100 千円
・大船渡商工会議所	100 千円
民間企業・団体等計	5,400 千円

2 基本財産評価損益（令和3年3月31日現在）	2,703,576 円
-------------------------	-------------

基本財産合計額 338,103,576 円

令和2年度事業実施状況について

1 基本方針

当財団の設立目的である三陸地域及びその周辺地域の振興を図るため、東日本大震災津波発災以降、復旧・復興に重点的に取り組んできたところであるが、令和2年度は、東日本大震災津波及び平成28年台風第10号災害及び令和元年台風第19号災害からの復興に資する取組を支援するとともに、三陸地域の総合的な振興を図るため、次の事項を重点的に取り組んだ。

- ・地域課題を解決し、地域振興につながる事業の推進
- ・三陸防災復興プロジェクトに参画する事業の重点支援
- ・三陸地域の振興に資するための実用性・事業性の高い調査研究への支援

2 事業別の実施状況

公1：三陸地域の振興に関する総合的な調査研究及び提言

1 三陸地域の交流人口拡大に向けた広域活動調査

〔目的〕

被災地の持続可能な地域社会の構築に向けて、地域資源を生かした観光などの産業振興や三陸ブランドの確立などにかかる事業を総合的に展開し、三陸地域一体となった魅力的な地域づくりを推進するもの。

(1) 三陸地域での広域的な周遊を促進するための新たな体験プログラム等の旅行商品化に向けた実証調査

〔実施状況〕

これまで養成した三陸観光プランナー（H28:26名、H29:21名、H30:5名、R元:8名）の活動のフォローアップや体験プログラムの造成支援を行うとともに、プランナーが提案する体験プログラムを組み込んだモニターツアー等を実施した。

○ 令和2年度モニターツアーの開催内容（三陸観光プランナー養成塾と同時開催）

	開催日時	開催地	主な内容
第1回	R2.6.19	釜石市	地域連携食材プラン、ワークショップ、シーカヤック体験サイクリング体験 参加者：41名
第2回	R2.7.15	大船渡市	ブルーベリー狩り体験、郷土菓子なべ焼き作り体験、今出山金山跡体験 参加者：23名
第3回	R2.8.27	野田村	シーカヤックアクティビティ体験、マンガン坑道ガイド&マリンローズ粉末を使ったレジンアクセサリー作り体験、地元食材をふんだんに使用したランチ 参加者：23名

○ 令和2年度盛岡第三高等学校総合学習

開催日時	開催地	主な内容
R2. 10. 13	宮古市 ほか6市町	総合学習の一環として行う震災学習やSDGsの要素を取り入れた体験プログラムツアーを支援(7コースに分かれて実施) ・大槌コース(海の生物に関わるフィールドワーク等) ・岩泉コース(タッチウッド体験、燻製チップ体験等) ・宮古コース(ホタテ貝の付着物除去作業等) ・釜石根浜コース(震災語り部講話、松葉の堆肥づくり等) ・釜石鶴住居コース(復興スタジアム見学等) ・大船渡コース(養殖アワビの施設見学等) ・陸前高田コース(伝承館見学、椿の木の植樹作業等)

〔実績額〕

181,655 円

〔主な成果〕

プランナーが企画した体験プログラムの旅行商品化に向けて、改善点の洗い出しやその対応の検討を行うとともに、ツアー企画やガイドを通じて、プランナーの活動現場における対応力やコーディネート力の向上が図られた。

なお、令和2年度に造成し、モニターツアー等により磨き上げられてきた体験プログラムについて、7件が旅行商品として販売された。

〔今後の展開〕

三陸ジオパークやみちのく潮風トレイル、三陸鉄道など、三陸地域の資源を生かした多彩なコンテンツの開発促進を行うとともに、「三陸に周遊・滞在する」多彩な旅行商品の造成を推進する。



盛岡第三高等学校総合学習

- (2) 三陸観光ポータルサイト「さんりく旅するべ〜いわて三陸観光ガイド〜」の管理・運用により、国内外に向けた三陸地域の観光情報を発信

〔実施状況〕

三陸観光ポータルサイト「さんりく旅するべ〜いわて三陸観光ガイド〜」により、観光ルート、観光施設、宿泊施設、体験メニュー、食、土産、イベント等の三陸地域の観光情報を国内外に向けて一元的かつ効果的に発信した。

サイトアクセス数：940,457pv (R02.4～R03.3月)

〔実績額〕

341,000 円

〔主な成果〕

国内外の三陸に興味を持つ人々に向けて積極的に情報発信することにより、三陸地域を訪問する契機となり、交流人口の拡大及び地域経済の活性化を推進した。

なお、令和元年度のデータと比較して、アクセス数の増加（令和元年度：411,974pv、令和2年度：940,457pv（対前年比：228.3%））とともに、岩手県内からのアクセス数が増加した。

〔今後の展開〕

動画の活用や観光地域づくりコーディネーターをはじめ関係機関との連携による効果的・タイムリーな情報発信により、三陸地域への誘客を図る。



(3) 三陸地域の総合的な振興の推進体制の整備に向けた調査・検討を実施

〔実施状況〕

長期的な視点に立ち、復興の先を見据えた三陸地域の持続的な振興を図るため、総合的な推進体制の構築に向けた検討を行った。

〔実績額〕

なし ※先進地等調査については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から見送り。

〔主な成果〕

推進体制構築に関する調査事業等を踏まえ、復興の先を見据えた官民協働による三陸地域の総合振興推進体制の構築に向けた方向性や具体的な事業モデル等を検討した。

〔今後の展開〕

三陸地域の総合的な振興を推進する体制については、岩手県と連携し、具体的な収益モデルや専門人材の確保、推進体制の構築スケジュールなどに関して、引き続き検討を進めていく。

(4) 三陸国際ガストロノミー会議実行委員会への負担金拠出（ガストロノミーツーリズムのツアーパッケージ造成に向けた調査・検討に要する経費）

〔実施状況〕

三陸地域の食材の魅力を発信するガストロノミーツーリズムのツアーパッケージ造

成に向けた調査・検討を実施するもの。（三陸国際ガストロノミー会議実行委員会に対する負担金の拠出）

〔実績額〕

1,050,000 円

〔主な成果〕

シェフやマスコミ関係者などの視察や交流メニューとしての実績だけでなく、一般の方々にも魅力あるコンテンツの磨き上げを行い、食をテーマとした体験コンテンツの充実を図る必要があるという課題が明らかになった。併せて、コロナ禍において一般参加者向けのツアーを実施する知見も得られた。

〔今後の展開〕

調査による成果と課題を踏まえ、令和3年度は、三陸DMOセンター及び旅行関連会社と連携し、シェフ向けのキャラバンを継続しつつ、一般参加者向けのガストロノミーツーリズムツアーについても試行的に実施する。令和3年度以降は、民間ベースでの取り組みが展開されるよう取組を進めていく。

当基金としては、DMO事業部が関わりながら、旅行企画の組み立てに関するアドバイスなどを行っていく。

(5) 三陸地域の観光コンテンツを活用した旅行商品造成支援等の実施（県事業受託）

〔実施状況〕

本県の沿岸地域への顧客促進を図るため、外国人観光客向け旅行商品を整備するとともに、本県における東日本大震災津波からの復興のシンボルとして沿岸地域を横断する三陸鉄道を活用したモデルコースを構築した。観光地域づくりコーディネーターを通じ、各沿岸市町村の体験型コンテンツ造成支援を行うとともに、モデルコース2件（沿岸北部コース、沿岸南部コース）を構築し、三陸の観光資源や体験コンテンツを組み込んだモニターツアーを実施した。

○ 三陸鉄道を活用した沿岸周遊促進業務（体験型コンテンツ等の整備）

	開催日時	開催地	主な内容
オンラインセミナー	R2. 12. 10	WEB 開催	「コロナ禍における観光産業の動向と地域資源の活用について」と題したセミナーを実施 講師：(株)アクティビティジャパン代表取締役 小川 雄司氏 参加者：29 名 内容：コロナ禍において準備すべき地域の資源を活用した商品づくりと売り方について解説
体験プログラムの造成			三陸鉄道を活用したプログラムとして駅周辺を起点とした商品（17 商品）を造成
モデルコース構築	R3. 1. 15～ 1. 17	沿岸南部	沿岸地域の伝統芸能、伝統工芸、祭り、郷土芸能、農業等を組み込んだ参加型・体験型観光プログラムを整備し、これらを組み込んだモデルコースを構築
	R3. 1. 21～ 1. 23	沿岸北部	

	開催日時	開催地	主な内容
モデルツアーの実施	R3. 2. 12～ 2. 14	沿岸北部	三陸の観光資源や体験コンテンツを組み込んだモニターツアーを実施（県内インバウンド関係者含む） 参加者：8名
	R3. 2. 24～ 2. 26	沿岸南部	三陸の観光資源や体験コンテンツを組み込んだモニターツアーを実施（県内インバウンド関係者含む） 参加者：11名
振り返りワーク ショップ	R3. 3. 3	宮古市	モデルツアー実施後の振り返りと体験コンテンツ、モデルコースの今後の活用について意見交換を実施

〔実績額〕

2,873,567円

〔主な成果〕

モニターツアーは、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、県内のインバウンド観光関係者での実施となったが、県内においても三陸の観光資源、体験コンテンツが知られていないため、地域観光資源の新たな発掘に繋がるとともに、「体験コンテンツ」と「モデルコース」の組み合わせや三陸鉄道の活用により、三陸地域の魅力向上や沿岸周遊の促進が図られた。

また、三陸地域全体での連携による効率的な情報発信が必要であり、今回構築したモデルコースを提案・発信することで、三陸横断道路の開通や震災から10年を契機としてより長く滞在する広域周遊観光の促進につながることを期待される。

〔今後の展開〕

受入態勢の整備及び商品化に向けたサポート、観光プロデューサーや観光地域づくりコーディネーターの連携による三陸ジオパークやみちのく潮風トレイル、三陸鉄道など、三陸地域の資源を生かした観光コンテンツの磨き上げを継続して行うとともに、三陸地域へのインバウンドの更なる拡大を図る。



モデルツアー（沿岸北部）



モデルツアー（沿岸南部）

公 2：三陸地域の振興のための人材育成

1 三陸ジオパーク推進協議会負担金（ジオパークガイド養成経費等）

〔目 的〕

三陸ジオパークの担い手となる地域住民ガイドの養成等、三陸ジオパーク推進協議会の活動を推進するもの。

〔実施状況〕

三陸ジオパーク認定ガイドを養成するため、7月～12月に延べ33講座を開催し、各地の震災伝承ガイド等延べ245名が参加した。

〔実績額〕

200,000円

〔主な成果〕

今年度は2人を新規認定し、認定ガイド登録数は32人となった。

〔今後の展開〕

「三陸ジオパーク推進行動計画（後期）」において令和6年度末までの認定ガイド登録者数52名を目標としていることから、今後も引き続き認定ガイドの養成を実施し、ジオパーク活動を支える人材として活動していく。

当基金としては、ジオパークガイドの養成を引き続き支援していく。

2 三陸地域における観光人材の育成

〔目 的〕

三陸地域の観光地づくりを推進するため、観光関係者の連携の推進、売れる旅行商品づくりを担う人材育成等を実施するもの。

〔実施状況〕

三陸沿岸地域の豊かな自然・食材の恵み・郷土文化等を生かした体験プログラムをはじめとする売れる旅行商品の企画を担う人材の育成を目的とした「三陸観光プランナー養成塾」を開催した。

○ 令和2年度三陸観光プランナー養成塾の開催内容（モニターツアーと同時開催）

	開催日時	開催地	主な内容
第1回	R2.6.19	釜石市	地域連携食材プラン、ワークショップ、シーカヤック体験サイクリング体験

	開催日時	開催地	主な内容
第2回	R2. 7. 15	大船渡市	ブルーベリー狩り体験、郷土菓子なべ焼き作り体験、今出山金山跡体験
第3回	R2. 8. 27	野田村	シーカヤックアクティビティ体験、マンガン坑道ガイド&マリノローズ粉末を使ったレジンアクセサリ作り体験、地元食材をふんだんに使用したランチ

〔実績額〕

181,214 円

（「三陸地域の交流人口拡大に向けた広域活動調査事業」と連携して実施。）

〔主な成果〕

令和2年度は新規に13名の三陸観光プランナーを養成し、平成28年度から累計で73名養成した。

〔今後の展開〕

これまで養成した三陸観光プランナー同士の連携や活動支援、体験プログラムの造成支援を行うとともに、新型コロナ感染防止対策も含め、特に高付加価値型旅行商品向けの観光コンテンツを企画できるプランナーの養成に重点的に取り組む。



第1回三陸観光プランナー養成塾
（新型コロナ対策と三陸体験プログラムの開発）



第3回三陸観光プランナー養成塾
（野田村の未活用資源のプログラム開発）

3 被災地の若手経営者等を対象とした人材育成

〔目的〕

官民一体で持続的な三陸地域での産業振興を図るため、地域企業が直面している課題解決に資する実効性・即効性の高いセミナーの開催及び個別企業支援を通じた次世代地域人材育成の取組を推進するもの。

〔実施状況〕

「さんりく企業成長支援課題解決セミナー」及び「個別相談会」を沿岸地域（宮古市、大船渡市）において実施。また、個別相談会に参加した企業のうち、重点的に支援が必要な企業に対し、専門家派遣を行った。

〔実績額〕

委託料 4,999,913 円

委託先 公益財団法人いわて産業振興センター（盛岡市）

〔主な成果〕

1. 「さんりく企業成長支援課題解決セミナー」及び「個別相談会」の実施

三陸地域での持続可能な産業振興を図るため、新型コロナウイルス感染症への対応も踏まえたマーケティングや商品の企画・開発、デザイン制作等、地域企業が直面している課題解決に向けたセミナー及び個別相談会を開催

（ア）第1部セミナー

「激変する社会・・・今こそマーケティングで御社のビジネスを強くしよう！」

（イ）第2部セミナー

「宿泊業の方向け！ネット集客を強化する為に必要な3つのポイント」

（ウ）個別相談会

※事前予約制によりセミナー終了後に、個別相談会を実施。



【宮古会場：シートピアなあと】

令和2年7月28日(火) 参加者：セミナー19名、個別相談5事業者

【大船渡会場：まるしちザ・プレイス】

令和2年7月30日(木) 参加者：セミナー25名、個別相談6事業者

2. 個別企業支援（専門家派遣）

個別相談会に参加した事業者のうち、早急に指導が必要である事業者や、進むべき方向が定まっており、課題も明確になっている7事業者に対し、専門家派遣を行った。きめ細かな実効性の高い助言等の実施により、企業が抱える個別課題解決の一助となった。

【主な支援内容】

商品の高付加価値化、施設の有効活用法、経営の安定化（黒字化）、WEB集客の販売促進強化、社内組織体制の強化

〔今後の展開〕

県北・沿岸地域においては、実践的な事業展開を支援できる人材やノウハウが不足していることから、産業支援機関やまちづくり会社等と連携しながら、人材育成の取組を実施する。

公 3 : 三陸地域の振興に関する調査研究事業に対する助成

公 4 : 三陸地域及びその周辺地域の振興に関する研究開発事業に対する助成

○ 調査研究事業

〔目 的〕

大学・研究機関等の知的資源を生かした三陸地域の振興に資するための実用性・事業性の高い研究事業への助成を行い、その調査研究成果の普及啓発等により、三陸地域の地域資源を活用した研究・開発の促進を図る。

〔実施状況〕

- (1) 助成件数 6 件（助成総額 8,758,000 円）（別添資料 1 参照）
（※申請件数 21 件／採択件数 6 件）
- (2) 機関誌「三陸総合研究」第 45 号の発行（300 部、10 月発行）
- (3) 成果報告会の開催（令和 2 年 12 月 11 日 参加者 58 名（於：岩手大学釜石キャンパス）

公 5 : 三陸地域及びその周辺地域の地域振興を図るための事業に対する助成

1 県北沿岸地域新商品・新サービス開発事業

〔目 的〕

地域の農林水産物や観光資源などの特性を生かした新商品開発や国内外からの観光誘客促進に向けた受入態勢の整備及びサービス開発にかかる経費に対する助成を行う。

〔実施状況〕

- 助成件数 28 件（助成総額 11,798,000 円）（別添資料 2 参照）
（※申請件数 68 件／採択件数 31 件のうち中止 3 件）

2 コミュニティ活動・人材育成事業

〔目 的〕

持続可能なコミュニティ形成や伝統文化の維持継承など地域課題解決のための地域住民が主体となる自立的な取組やその活動に関連する経費に対する助成を行う。

〔実施状況〕

- 助成件数 5 件（助成総額 3,591,000 円）（別添資料 3 参照）
（※申請件数 14 件／採択件数 5 件）

3 イベント開催事業

〔目 的〕

三陸地域の活性化及び交流人口の拡大に向けたイベント（震災復興に資する取組、また三陸地域として広域的波及効果がみられる取組と認められるもの）の開催経費に対する助成を行う。

〔実施状況〕

- 助成件数 1 件（助成総額 13,666,000 円）（別添資料 4 参照）
（※申請件数 2 件／採択件数 1 件）



コミュニティ活動・人材育成事業
(ゼロスポット)



イベント開催事業
(三陸花火競技大会実行委員会)

事業報告の附属明細書の作成について

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和3年5月

公益財団法人さんりく基金

(資料 1) 令和 2 年度調査研究事業 (6 件) 実績一覧

	申請者名	タイプ	事業名	助成金額 (円)
1	◎株式会社津田商店 国立大学法人岩手大学	Ⅱ	缶詰製造工程での定量充填作業用省人化システムの研究開発 ～複数魚種の焼成切身片の測定と搬送方法の確立～	1,500,000
2	国立大学法人岩手大学	Ⅰ	サクラマス種苗生産技術見直しへ向けた遺伝特性分析 ～春遡上・秋遡上群の遺伝的差異と自然産卵床の遺伝特性～	1,500,000
3	◎株式会社釜石電機製作所 地方独立行政法人岩手県工業技術センター	Ⅱ	高効率光触媒材料の新規開発による溶射式光触媒プレートの性能向上	1,500,000
4	国立大学法人岩手大学	Ⅰ	黒玉の粉体成形の品質向上に関する研究	1,485,000
5	国立大学法人岩手大学	Ⅰ	陸上水槽を用いた貝毒除去技術開発	1,500,000
6	◎国立大学法人岩手大学 株式会社宮古マランツ	Ⅱ	緊急告知防災ラジオの機能を拡張し広域に緊急情報を伝達する手段の研究	1,273,000
			合計	8,758,000

※タイプⅠ…大学等研究機関が実施する調査研究事業

タイプⅡ…大学等研究機関と事業者が連携して実施する調査研究事業

(資料2) 令和2年度県北沿岸地域新商品・新サービス開発事業 (31件) 実績一覧

	事業者名	住 所	事業概要	助成金額 (円)
1	坂松農園	一戸町	一戸町産トウモロコシのプチギフト商品 (1本入り) の開発及びブランド力の強化	266,000
2	かるまいシリアル ブランド化女性推 進協議会	軽米町	かるまいシリアルとかるまい若鶏のコラボレーショ ン「シリアルチキンドック」の開発	500,000
3	なかつる	九戸村	九戸村の地域資源を活かした、健康に良い蕎麦セッ ト (めん・つゆ) 商品開発・パッケージデザイン開 発事業	500,000
4	こちゃや	九戸村	九戸村のオアシス「こちゃや」九戸村の拠点化に向 けたオリジナルかき氷商品の開発とお持ち帰り商品 やイベント販売用パッケージデザイン開発事業	500,000
5	株式会社マルイ造 形家具工業	九戸村	自然豊かな地で生まれた、指物技術と県産材を使っ たアウトドア家具の開発と九戸村道の駅おりつめ 「オドデ館」での新シリーズ発表展示会開催による 販路の拡大	500,000
6	まめぶの家	久慈市	北岩手の山里の魅力あふれる「荷軽部の山幸・里幸 彩り弁当」	500,000
7	清水商店	久慈市	日本一の白樺美林から白樺樹液のミストを！全国の コロナ肌荒れを癒したい	500,000
8	へろまち産直工房	久慈市	新しい山形村名物、美しい赤い花が咲く「赤ソバ」 を活用したスイーツ開発	500,000
9	田野畑山地酪農牛 乳株式会社	田野畑村	田野畑山地酪農グラスフェッドビーフの新しい加工 肉食品の製造	373,000
10	一般社団法人 燈	田野畑村	田野畑オリジナル天然酵母パンの開発	取下げ
11	特定非営利活動法 人フォレストサイ クル元樹	岩泉町	林地残材・間伐材等未利用資源を活かした「森の木 のお位牌」の商品化に向けた商品及び販促ツール・ 情報発信ツールの企画・開発	467,000
12	泉金酒造株式会社	岩泉町	「三陸の海と岩泉の森をつなぐエコボトルバック」 の開発・試作	310,000
13	ペット空間てくて く	宮古市	地魚の未利用部位・県産農産物を活用したペット フード・おやつセットの販売	取下げ
14	株式会社菱屋酒造 店	宮古市	新しいターゲットに向けたラベルデザインのリ ニューアル	371,000
15	カズミスタジオ	宮古市	木目の美しい「マッサージプレート」の商品開発と 美容サービスの商品開発事業	500,000
16	釜揚げ屋	山田町	新事業「浜焼き・漁師の産直」のPRと新商品「あ かもくラーメン」の商品化	500,000

(資料2) 令和2年度県北沿岸地域新商品・新サービス開発事業 (31件) 実績一覧

	事業者名	住 所	事業概要	助成金額 (円)
17	佐兵衛家のでまひ まきのご園	山田町	原木しいたけPRのための新規商品開発プロジェクト	270,000
18	風の電話サポ- ーターズ	大槌町	大槌町「風の電話」を活用した観光商品の造成	取下げ
19	株式会社富川屋	遠野市	豊かな地域文化を“学び” “感じる” スタディツ アーの商品開発	500,000
20	特定非営利活動法 人遠野まごころ ネット	遠野市	革のカシミア商品開発	198,000
21	上閉伊酒造株式会 社	遠野市	遠野産フレッシュホップを使用したクラフトビール 商品(瓶)の開発	492,000
22	岩間鉄工所	釜石市	インターネット販売促進新商品開発、それを用いた 体験プログラム	500,000
23	同和鍛造株式会社 釜石事業所	釜石市	車両衝突対応型ボラード(車止め支柱)の開発	488,000
24	FROM NIPPON	釜石市	釜石地域の資源である木と鉄を活用したベンチ 「FROM KAMAISHI」の商品化	309,000
25	三陸恵みの会	大船渡市	三陸特産小枝柿「柿の葉茶」ブランド化事業	484,000
26	綾里漁業協同組合 女性部	大船渡市	未利用資源(ウニ)を活かした「浜のかあちゃん」の 商品化、販売体制構築	444,000
27	特定非営利活動法 人三陸ボランティア ダイバーズ	大船渡市	環境保全型ダイビング「藻場再生スペシャリティ」 の開発とPR	450,000
28	株式会社バンザイ ファクトリー	大船渡市	未利用地域資源「メカブの中芯」を活かした高付加 価値新商品「わかめ塩」の企画・開発	492,000
29	ロッツ株式会社	大船渡市	オーガニックチョコレートを通じて健康促進	411,000
30	特定非営利活動法 人LAMP	陸前高田 市	りんごの木を使った新たな価値の創出「アップルサ イクル」	223,000
31	一般社団法人トナ リノ	陸前高田 市	三陸の地域資源「養殖わかめ」の「茎」を消費に繋 げる新商品開発	250,000
			合計	11,798,000

(資料3) 令和2年度コミュニティ活動・人材育成事業(5件) 実績一覧

	申請者名	主な活動地域	事業概要	助成金額 (円)
1	株式会社富川屋	遠野市	コミュニティ発 地域文化ガイド育成事業	1,000,000
2	BEER EXPERIENCE株式会社	遠野市	ホップ畑やクラフトビール等の地域資源を活かしたビアツーリズム事業	672,000
3	ゼロスポット	釜石市	まちなかアートでまちも心もカラフルに!	495,000
4	こんたでいーの遠野	遠野市	伝統野菜「琴畑かぶ」をはじめとする遠野産野菜の栽培コミュニティの育成・活性化事業	864,000
5	一般社団法人大船渡市観光物産協会	大船渡市	三陸・大船渡の魅力を伝える地域着地型商品造成事業	560,000
			合計	3,591,000

(資料4) 令和2年度イベント開催事業(1件) 実績一覧

	申請者名	事業名	イベント開催地	助成金額(円)
1	三陸花火競技大会実行委員会	岩手・さんりく花火大会(仮)による観光・交流人口拡大事業	陸前高田市	13,666,000
			合計	13,666,000